

# 韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校  
第139号

総務部  
2015.12.24

楽しかった修学旅行  
芸文祭優秀賞受賞  
マイコンカーラリー4位入賞  
訪問ボランティア

## 楽しかった修学旅行

12月13日から3泊4日で沖縄本島への修学旅行が実施されました。出発当日には欠席者もなく、また旅行中の大きな病気やけがもなく無事帰校できたことが何よりでした。首里城の荘厳さ、国際通りの自由見学、2日目に見学した平和祈念資料館に展示されていた当時私たちと同年代の少女



たちの遺影や残された文章の数々、むら咲むらでの体験学習、ライブ会場カラハイでのティンクティンクによる沖縄音楽のライブでは生徒全体が熱気あふれる盛り上がりを見せました。そして3日目の楽しみにしていた班別行動、最終日の海軍司令壕の見学など、思い出の一つひとつが、今後の生活の糧になる旅行となりました。



## 高校芸術文化祭優秀賞:郷土芸能部門

11月8日(日)双葉ふれあい会館に於いて、芸文祭郷土芸能部門に参加しました。この大会は、来年度の全国総合文化祭や関東大会の出場予選も兼ねた、私達にとってはとても重要な大会でした。この大会に向け、夏休みの長期合宿や日々の練習の中で「音へのこだわり」を持ち「音を楽しむ」ことを学んできました。その結果、大会当日は大きなミスもなく自分たちの力を十分に発揮できました。他校に比べて部員の数も少なく、音量などでは苦戦することも予想していましたが部員一人ひとりの「気迫」にあふれる演奏は審査員はじめ多くの方々に感動を与えられたと思います。大会の成績は優秀賞(2位)となり、全国大会の出場は僅差で及びませんでした。来年8月に神奈川県で行われる関東大会の出場権を獲得することが出来ました。これからも、和太鼓を通して様々な事を学び、演奏を通して多くの人々に和太鼓の魅力を伝えられるよう日々精進していきたく思います。たくさんの応援ありがとうございました。



## マイコンカーラリー南関東地区大会・4位入賞

「ジャパンマイコンカーラリー2016南関東地区大会」が12月13日(日)東京都立総合工科大学にて開催されました。エントリーは、Advanced Class25台、Basic Class27台、両部

門合わせて17校52台の参加となりました。競技方法は、午前1回、午後1回走行しベストタイムを記録とし、順位を決定します。この大会の Basic Class に、私たち（制御工学科3年坂本和幸・八巻敦司）は出場しました。マイコンカーとは、独自に制作した車体に、プログラミングしたマイコンボードを搭載した手づくりのマシンです。マイコンカー製作は大きく分けて、車体、マイコンボードを含めた電子回路、プログラムに分けられます。コースは全長60mで幅300mm、高さ30mm、地は黒色でコース中央には幅20mmの白色のセンターラインがあります。その上をマイコンカーのセンサが判断しながら進んでいきます。さらにコースは、直線コースの他にクランク、S字カーブ、立体交差、レーンチェンジという難易度の高い要素を含み構成されています。一番の特徴は、クランクです。クランクの手前50~100cmには1本の白線がコースを横切るように引かれ、その先にクランクがあることをセンサを介してマイコンカーに伝えます。この白線を検知すると、減速してクランクモードに切り替わりセンターラインの曲がる方向を判断して直角に曲がります。同じクランクでも直前の状態（直線、カーブ、立体交差）によりマイコンカーのスピードが違いため条件が異なります。全てを難なくクリアすることが重要なポイントとなります。この大会に臨むに当たり、4月より製作に取り組みました。大会2週間前にマシンが完成し、そこからプログラム作りや調整を行いました。どうにか大会2日前に学校の手作りコースで完走させることができました。しかし、大会前日の試走会では思うようなプログラムを作ることができませんでした。そこで、大会当日の朝早く会場に行き、プログラム改良やハード面の確認を行い、完走できそうなプログラムを完成させました。1回目の走行では操作ミスにより41.19秒に終わりましたが、2回目の走行では、プログラムの改良を行いタイムを8秒縮め4位入賞を果たしました。今回の大会での完走率は非常に低く、25.9%でした。その中で、2回とも完走したのは我がマシンを含む2台のみでした。来年は、後輩達に今回の記録を上回るようなマシンを開発し、全国大会へ行ってもらいたいと願っています。



## 訪問ボランティア開催

12月3日（木）に、ボランティア委員30名が冬季福祉ボランティア活動に参加しました。葦崎社会福祉協議会と連携をとり、地域に在住する5軒の高齢者宅を訪問し、清掃活動や奉仕活動をしました。今回は、草取りや窓ふき、桶の掃除を中心に作業をしました。小雨の中、黙々と作業をこなす姿に一生懸命さが伝わりました。マスコミ取材（NHK、山日新聞等）のインタビューに、高校生活最後の活動となる3年5組松延芳樹君は、「大変だったけれども3年間ボランティア委員として活動できて良い経験ができた。人の役に立てることをして喜んでもらえることはうれしい。」と答えていました。今回も地域に根差す活動を通じて、高齢者へ優しい気持ちが伝わるボランティア活動を行うことができました。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail [info@nirasakith.kai.ed.jp](mailto:info@nirasakith.kai.ed.jp)